

議会だより

うれしの



社会文化体育館の基本設計	3 P
太陽光発電に補助金	6 P
政務調査費を公開します	9 P
一般質問に14人	12 P

円を補正して 総額116億2,651万円へ

景観条例の制定を否決

今議会において嬉野市景観条例が提案されましたが、時期尚早ではないかということで否決されました。

この条例は、平成16年に制定された景観法に基づき、必要な事項を定め

景観形成の促進をはかり、本市の、緑豊かな自然景観や歴史的な街並み景観

を、市民の共有財産として守り育て、地域の魅力

や個性の創出をはかりながら、嬉野らしい良好な

景観を将来へ引き継ぐことを目的とすることとしています。

この条例では、景観計

画区域を、嬉野市全域に設定されており、この条例を制定すると

個人の財産に対しても、規制がかかることになり

ます。

市民に対して説明責任を果たす必要もあり、条例制定前に、市民に対し

て公聴会など、住民の意見を反映させる手続きを経て、制定するべきでは

ないか、また議会でも特別委員会など、検討機関を設置してこの条例を精査すべきではないか、との意見などもあり、今回の制定は時期尚早であるとして、否決されました。

景観保護条例を制定している地方公共団体のなかでは、財産権を規制することは法律で定められていなかったことから、強制力のない行政指導にとどまってきた経緯があり、その結果、景観が乱開発のために破壊された例もあります。

現在、観光業者などがおこなうアンケート調査のなかで、もう一度行きたい温泉地ランキングのなかで、上位を占めている温泉地の条件に、町の雰囲気が上がられており、観光地嬉野としても、来訪者が訪れてよかった、また訪れたいと思わせるような、癒しを与えてくれる街づくりをおこなう必要もあります。

また嬉野に住んでいてよかったですと思ってもらえる街づくりも必要です。日本全国の自治体においても、景観条例の制定が進んでおり、嬉野市としても早急に、市民に対して説明をおこない、議論を進めながら制定に取り組む必要があります。

条例制定に反対

市民への説明と

理解が必要

神近 勝彦 議員

平成22年第2回定例会が、6月4日から18日までの15日間の日程で開催されました。

提案された議案は、一般会計補正予算、特別会計4件、条例の一部改正8件、景観条例の制定や字の一部廃止が2件、訴えの提起が1件など上程されましたが、一般会計補正予算については修正案が議員から発議され、慎重な審議の結果、修正案が可決されました。また、景観条例は否決されました。

ほかの議案については、賛成多数で可決されました。

賛否表と陳情はP11

一般質問は14名が3日間にわたり市政を質しました。

現在、観光業者などがおこなうアンケート調査のなかで、もう一度行きたい温泉地ランキングの

6月 定例会

3億2,851万

社会文化 体育館の 基本設計を入札へ

補正予算として、社会文化体育館建設の基本設計をおこなうため、1、279万2,000円が予算計上されました。合併前から旧塩田町の懸案事業であり、リーディング事業審議会、またその後の社会文化体育館建設推進委員会において、

長時間審議いただき、建設推進委員会から市長へ提言されました。この予算については、社会文化体育館の総事業費約15億円を基礎に算定した基本設計業務委託費で、建設総事業費の範囲内で体育館と文化施設などの青写真を作成するものです。

一般会計 予算案の 修正案を可決

社会文化体育館の基本設計の提案に参加する業者に、謝金として100万円計上されました。今回の基本設計はプロポーザル方式を採用します。市が10社の業者を指名し、設計提案してもらい1次審査・2次審査で業者を絞り込み、最終的にいちばん優秀な業者を決定するものです。

指名を受けた各社は基本設計を提案するために多くの費用をかけて準備されます。市では、各社の経費を少しでも軽減するため、指名した10社に10万円を謝金として支払うとしました。

議員から謝金を減額して予備費に計上すべきとの一般会計補正予算の修正案が発議されました。修正案に対して、反対討論もありましたが、採決の結果、修正案は可決されました。



スポーツで健康増進を

修正案に反対

よりよい基本設計を
提出してもらったために

田中 政司 議員

嬉野保育所 移転計画始まる



以前から移転が望まれている嬉野保育所

嬉野保育所を新しく建設するために、基本設計業務の委託料が600万円計上されました。

現在、嬉野保育所は、昨年から3年間の指定管理者としてルンビニ保育園に、運営を委託されています。

以前から嬉野保育所は、老朽化と園庭の狭さ、駐車場が無く路上での送迎などが問題とされ、議会でも移転にむけての質問がだされていました。

移設場所については、他の4園との位置のバランスを考えれば、現在地

の近くにとの意見が以前からありましたが、適地が見つからず、嬉野小学校の北側にある、市所有の空き地を候補地として、基本設計業務が委託されます。

今後の計画は、23年度に実施設計、24年度に工事着工完成の予定です。敷地造成は市がおこないますが、建物については、事業者が土地を借り受けて、保育園を建設することになります。

今回候補地とされた空き地は小学校の隣で、日当たりもよく、市有地の有効活用など立地条件としては最良の場所であると思います。

議会においては、嬉野町内の4保育園と建設予定地や児童定員などの事前協議がなされておらず、将来の少子化を念頭においた保育行政について十分議論されなければならぬとの意見がだされました。

みゆき公園内に、新たに建設される多目的屋内広場（雨天練習場）の設計業務委託として700万円が計上されました。

以前より、サッカー大会や高校野球大会・大学の合宿などにおいて、雨天練習場の要望があったわけですが、いよいよ実現に向けて動き出しました。

建設予定地は、みゆき公園相撲場上の駐車場奥で、面積は2,000平方メートル（45メートル×45メートル）の予定です。

鳩の巣、ふんなど鳥害による被害を受けないように、外を囲う設計が考えられています。夏場の暑さ対策も考慮した設計が望まれます。

嬉野市内においては、初めての大きな屋内広場なので、雨天時の保育園や幼稚園の運動会、ゲートボール大会などさまざま

雨が降っても大丈夫

みゆき公園に多目的広場

まな目的での利用が考えられます。

雨天練習場ができることにより、みゆき野球場やサッカー場の利用率が向上し、宿泊を伴う大会やキャンプなど、より多く誘致できれば、嬉野市の活性化につながるものと期待されます。



建設が予定されている多目的広場

学力向上につながるか

中学校に電子黒板

今回、各中学校に電子黒板が導入されることになりました。

電子黒板とは、デジタルテレビとパソコン、カメラなどの機器を連携した、情報通信技術機器です。

具体的には、教材として映し出された映像に、

黒板同様に書き込みができたり、その内容を保存できるなど、多くの機能を持った機器です。

また操作については、キーボードやマウスを触ることなく画面をタッチするだけでできるものです。

電子黒板の利点は、画



電子黒板を使った授業風景

面に映し出された映像に、そのまま書き込みができることで、子ども達を授業に集中させることができ、説明がわかりやすいことや、自分たちで調べたことをパソコンでまとめ、電子黒板を使って発表することで、映像や音声をつんだんに使った発表ができ、子ども達の情報活用能力の発揮につながるなどとされています。今回の導入に際しては、1台あたり約90万円、4台分365万円が一般財源で予算化されました。議会では、県内においてもまだ2つの自治体ぐらしか導入されており、時期尚早ではとの意見などもありました。今後は、この黒板を有意義に利用していただき、子ども達の学習状況や学習意欲などを観察しながら、今後どう対応するのが見守っていく必要があります。

公共料金滞納者に訴訟

今回、市営住宅の使用料の悪質な滞納者に対して、住宅の明渡し及び家賃の支払いについて、訴えを起こすことになりました。市営住宅の使用料については、比較的安く設定されており、低所得者の方には、非常に利用しやすい、入居希望者も多い状態です。また入居中に失業した



市内にある市営住宅

り、家庭のいろいろな事情で使用料が払えなくなられた方には、その都度相談も、受けられるような体制をとっています。公共料金の滞納問題については、水道料、保育料など発生しており、解決が急がれます。この住宅使用料の滞納問題については、以前から議会でも問題が指摘されてきましたが、今回、

法的な措置を取らざるを得なかったことについては、非常に残念なことです。今後も公共料金の滞納問題については、公平性の面からも、毅然とした対応をしていく必要があります。

家庭から「ストップ・温暖化」

太陽光発電に補助金



設置が進んでいる太陽光発電

なお、申請受付開始は、平成22年6月18日から平成24年3月31日までとなっており、今年度は、500万円が予算計上されました。

また、国県の補助もありませんので、詳しくは、市の企画企業誘致課にお尋ね下さい。

家庭から地球温暖化防止に協力しましょう。

今回、嬉野市では地球温暖化問題への取り組みのひとつとして、発電に係る環境負荷を低減できる「太陽光発電システム」の設置を促進するために、補助金交付制度を設けました。

補助対象者は、市内に居住、または居住予定の方で、既存住宅及び新築

住宅に新規に設置する個人の方、市税などを滞納していない方が対象です。補助対象は、余剰電力を電力会社と受給契約を結び、送電することができるシステムであることです。

補助金の額は、出力1kwあたり3万円とし、10万円を限度とします。

情緒のある街並みへ



どう変わっていく、中川通り

元湯通りから中川通りを経て、「シーボルトの湯」まで、情緒があるように改良する事業が3、700万円計上されました。それに伴って、現在仮設管で配湯している「シーボルトの湯」お湯の、本管布設工事に2、500万円の予算が計上されました。

議会においては、駐車場から「シーボルトの湯」まで距離があるうえ、誘導路としては、わかりにくく、殺風景で情緒がないとの意見もありました。また、温泉街に回遊性を持たせるためにも改良が必要でした。

新たな側溝布設がここ

なわれる予定ですが、その際に「シーボルトの湯」のお湯管理設も同時におこなわれます。

しかし、全体的な改良をどうするかは、まだ決まっています。

今後地域のみなさんや、観光協会などと協議され、情緒のある街並みを創出されるものと思います。

管路のコースについては、お湯の利用も含め、いろいろ検討されましたが、路面状況・水路条件・水道配管の条件から現在のコースに決定がなされました。

現在、十字堂跡地を市が借り上げて、広場として利用していますが、できればその場所に湯けむりと足湯が設置できればと考えます。

その際の配湯についても、今回設置予定のお湯管から配湯できるものと思います。

早期発見で健康な毎日を

近年は脳卒中発病が多く見られ、平成19年度の調査では、脳血管疾患は、県全体では998名、嬉野市は56名でした。人口10万人に換算した場合では県全体117名、嬉野市では189名となり、県内の自治体でも高い値となっております。

そこで、今回の補正で、脳血管障害の早期発見とその他疾病の予防事業を推進するため、脳ドックの検査を受けた人に対し、その費用の一部を助成することにいたしました。

検診料の助成を受けることができる人は、市内に住所を有し、検査実施年度に、40歳以上60歳未満の年齢の人で、市税を完納している世帯に属していることが条件となります。

検診料の助成額は、委託医療機関の検診料の80％で、限度額が2万5,000円となっております。ちなみに3万円の検診料の場合6,000円の自己負担となります。

今回の助成は、委託医療機関の予約の関係上、150名分が予定されています。

この助成を利用し、ひとりでも多くの人に脳ドック検診を受けていただき、市民の健康保持・増進がはかれることを望みます。



脳ドックの検査状況（パンフレットより）

新しい野菜を探そう

この事業は高齢者や定年退職し就農される方々などを対象とし、行政・JA・普及センター・農産物販売所・生産者が一体となり、新しいブランドとなりうる野菜を開拓するために、視察や研修会などをおこなう事業です。

在来の品種など、少量多品目で試作に取り組んでいたが、嬉野市で平坦地や中・山間地など各地で根づくものを探しだしていただくことを目的としています。

多くの皆さまが関心を持って参加していただくことにより、数多くの品種の試作がおこなわれることを期待するものです。そしてより多くの品種を見つけ出し、耕作放棄地などの有効利用や裏作をしていただくことにより、農地の保全にも役立つものと思われまふ。

また、耕作放棄地に作付けされることにより、周辺整備も期待され、イノシシ被害対策につながることも相乗効果も考えられます。

事業としては小さいですが、積極的な参加を期待します。



直売所で販売されている新品种の野菜（吉田まんぞく館）

市民から厳しい意見も

7会場で開催しました

中央公民館



5月31日から6月3日までの4日間、昨年と同様に、市民と議会の語る会」が、開催されました。今回も嬉野市にある7小学校校区に1ヶ所を基本として会場を決め、全体で232人の方に参加

していただきました。各会場からは、議会や市の行政運営に対して、多くの方々から厳しい意見や要望などがありました。

議会においては、議会活性化特別委員会を設置して、今回の報告会の進め方や市民のみなさまから頂いた意見などを、議会運営や市の運営に役立たせるよう、調査研究していきます。

どのような意見、要望があったのかその一部を掲載します。

- ・ 塩田中学校や社会体育館など、箱物事業をおこなって市の財政は大丈夫なのか。
- ・ 市の借金返済や健全財政への取り組みは。

- ・ 議会はチェック機能を果たしてほしい。
- ・ 地域コミュニティの活動内容はどうすればよいのか。また、議会はどのように考えているのか。
- ・ 農業集落排水事業の運営と使用料の関係はどうなるのか。農排も公共下水道も計画されていない地域はどうするのか。
- ・ 嬉野市へ市民主体で各種大会を誘致しているが、参加者にパンフレットやお土産など提供できないのか。
- ・ インターネットを活用して、議会の中継や充実した報告をおこなってほしい。
- ・ 国道498号線の改良は早急を実現してほしい。などでした。



嬉野公会堂

H22年5、6月 議会報告会・アンケート結果 実施期間 H22年5月31日～6月3日まで

男	女	計	中央公民館 (塩田公民館)	轟小学校	吉田公民館	楠風館	久間小学校	嬉野公会堂	大草野小学校	計
204	28	232	19	27	40	28	35	54	29	232
87.9	12.1	100%	8.2	11.6	17.2	12	15.1	23.3	12.5	99.90%

10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	未提出 未回答	計
0	3	5	10	53	73	39	5	103	291
0	1.1	1.7	3.4	18.2	25.1	13.4	1.7	35.4	100%

嬉野市がよくなるように使いました 平成21年度政務調査費を公表します

政務調査費支出一覧表

【公費】

交付額(円)	支出金額(円)	返還金額(円)
4,980,000	4,440,215	539,785

支出額項目	実支出額(円)	のべ人数
研究研修費	912,560	9
調査旅費	853,000	11
資料作成費	360,697	4
資料購入費	919,803	24
広報費	296,066	5
事務機器等	1,221,979	17
その他消耗品	231,614	12
実支出合計	4,795,719	82
支出金額(公費)	4,440,215	(支出残金は自己負担)

平成21年度の政務調査費は、平成22年の1月に選挙があったため、前職8名が年額22万円、新人5人が年額2万円、再任13人が年額24万円となります。
 総交付額は498万円、総支出額は479万5千719円【内、自己負担35万5千504円】となり、返還額は53万9千785円となりました。
 平成22年度の支出内容

について、議員全員協議会で話し合いをおこない、21年度までは認めていた事務機器のリース料と議員個人が発行している議会誌については、調査研究にはなじまないとの理由で認めないこととしました。
 今後も貴重な公金を使用する政務調査費は、嬉野市の発展のため有効に活用します。

15		14		13	12	11	10		9	8	7	6	5	4		3	2		1	月日	場所・内容	人数			
H21.10.30	H21.10.29	H21.10.28	H21.10.27	H21.10.23	H21.10.17	H21.10.14	H21.10.15	H21.10.14	H21.10.14	H21.10.13	H21.10.3	H21.8.8	H21.8.7	H21.7.31	H21.7.30	H21.5.22	H21.5.21	H21.5.19	H21.5.2				H21.5.1	H21.4.30	H21.4.3
行政の方向と新しいまちづくり		これからの政治		滋賀県大津市 市町村議会議員研修会	大分市 市街地再生プロモーション事業先進事例見学会	女性のための政策参画セミナー アサーティブな話し方	バイオ燃料説明会「エネルギーの地産 地域循環を目指して」	青森県むつ市 いのしし被害と農業振興公社について	青森県青森市 道の駅の指定管理について	名古屋市 観光振興策及びまちづくりに係る取り組みについて	広島市 観光振興策及びまちづくりに係る取り組みについて	裁判員制度講演会	インターネットを活用して情報収集・情報発信 メディア・リテラシーについて	九州創発塾2009 佐賀大会	マリトピア(佐賀市)	自動車会館(東京都千代田区) 第11期 自治政策講座	「持続可能な社会へ自治体の再構築―自治体計画の見直しと協働」	明治大学アカデミーホール	第46回平成21年度地方自治経営学会研究大会	大村市下水道課 下水道接続向上の施策について	NPO法人まちづくり役場 長浜・黒壁のまちづくり	今井町なみ保存整理事務所 今井の伝建のまちづくり	大和郡山市自由が丘自治体 大和郡郡山市のまちづくり	(株)向井珍味堂 新規導入作物研究(実とり山椒、唐辛子)	NPO熊野ワールド 新規導入作物研究(柿)
1	6	1	1	1	1	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	4						

平成21年度 視察・研修の報告一覧表

嬉野市から国へ意見書提出

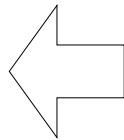
請願を審査

教育予算の拡充を求める
意見書の提出を

請願者 松尾 弘樹

紹介議員 西村 信夫

採択しました



- ・ きめ細かい教育の実現のために、30人以下学級の実現などの新たな教職員定数改善計画を実施すること。
- ・ 義務教育費国庫負担金制度の国負担率を2分の1に還元すること。
- ・ 教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること。



未来を担う子ども達

人権侵害救済法案成立に反対する意見書

民主党案の人権侵害救済法案では、差別や人権侵害があつた、あるいはその恐れがあるという認識に基づいて、令状なしで居宅への立ち入り調査、動産等の押収、留め置きができるという人権委員会というものが設置されることとなっている。

差別、人権侵害の定義があいまいなため、人権委員会が被害者とされる人の申告による案件を差別、人権侵害だと判断すれば差別になり、人権侵害として罰則を課すことができるなど恣意的な運用をされる危険がある。表現の自由を保障した

憲法21条に抵触し違反するものであることは明白である。
国においては、人権侵害救済法案の成立がなされないよう強く求める。

国会議員の政治資金運用の適正化を求める意見書

国民生活の安定と向上、国際社会での信頼を得るよう努力されることを国民が期待しているのが、国民から負託を受け国政に携わる国会議員である。しかしながら、一部の国会議員においては、政治資金の運用が極めて不適切な方法で収受や費用計上がなされ、このような事例が明らかになるたびに、怒りを覚えるもの

である。
国政に携わる議員は、国民に対し一日も早く政治姿勢のあり方を正すことが信頼回復の第一歩であると確信する。
よって、国会議員の政治資金運用には厳正に対処されるよう強く求める。

勝負



企業誘致活動は 計画通りに推進せよ

平野 昭義 議員

答 引き続き努力していく

結婚推進による
人口増を

平野 伊万里市は今年4月から結婚応援課を、また武雄市はお結び課を設置し晩婚、未婚対策に力を入れている。

嬉野市も早く取り組みべきではないか。

市長 情報を集め庁舎内でも検討を指示している。

その他の質問

・口蹄疫対策について

平野 波佐見町は早くから20社の工場団地を造成、現在キャンオンが進出し、865人が働き、5年後には1,500人体制が予定されているが、知っているか。

市長 承知している、嬉野市内からも就職され安心している。

平野 熊本県から北志田地区の旧工場跡地に、企業進出の要望があつたがその後の対応は。

市長 非常に積極的な話をさせていただき、地元の方にもご協力いただいたが、下流域地区の一部の了解が得られなかった。現在相手方の企業内で検討されている。

平野 現在の工業団地内に大型運輸業が2社あるが不便で困つておられる。県に「地域活力基盤創造交付金」事業がある。

平野 平成20年に企業誘致課が新設され、21年度に基本計画、22年度に補償調査、23年度に用地造成・道路完了とある。進展がない市の対応に地権者は、苛立つておられる、早急に着手すべきだ。

市長 時間はかかっているが引き続き努力する。

平野 副市長は企業誘致の委員長である、今後の活動計画をうかがう。

副市長 計画通りに進めていくために、私の方から再度おうかがいしていく。

平野 地権者は早急な完了を待たれている、周辺地域のご理解には熱心に努力していくべきだ。

副市長 農地法が変わり、農振地除外には少し時間がかかると思うが、積極的に努力していく。



工業団地の計画がある久間地区

真剣

がん撲滅のための 環境整備に取り組み

梶原 睦也 議員

答 重要施策として進めてきた



梶原 憎むべきがんを撲滅し、がん患者やその家族の不安を取り除くための環境整備に取り組むのが、政治や行政の役目ではないか。

市長 国は重要施策として、予防対策から臨床対

策まで取り組んできた。嬉野市としても重要施策として進めてきた。

梶原 がんは、予防や早期発見のための検診がもっとも大切だ。

昨年から子宮ガン検診・乳がん検診のための無料クーポン券が配布されたが、その効果はどうだったか。

健康づくり課長 子宮ガン検診で200名以上、乳がん検診で300名以上の増加があった。非常に効果が上がっている。

梶原 実際にがんを患えば、肉体的、精神的な問題、治療に対する不安や経済的問題など様々な問題に直面する。しっかりとした相談窓口への案内が必要だ。

市長 県は、がん相談支援センターを医療センターなど県内4病院に設置している。

本市でも相談窓口を設け、保健士や栄養士で術後の相談を受けている。

梶原 財団法人がん研究振興財団発行の「抗がん

剤治療を安心して受けるために」という小冊子ががん患者さんより評価を得ているが、市でも独自の発行をすべきだ。

市長 是非検討したい。正しい情報を伝えるのが大事だ。

いろいろな形で患者さんの負担軽減ができたと思うので今後研究する。「がん教育」を推進せよ

梶原 国は、がん検診の受診率50%を目指して様々な施策を講じている

が、目標までには程遠い。子どものうちから、がんに対する知識や予防効果などを学び、生活習慣や予防、検診への意識を高めていく「がん教育」が必要だ。

教育長 がんでは早期発見、早期治療が大事だ。そのようなことも含め今後、更なるがんについての授業を深めていく。

その他の質問

・活字文書読み上げ装置について



早期発見で健康な日々を

嬉野茶作りの 一体となった組織化を

山下 芳郎 議員

答 今ある形を再整備して
力ある組織にする



農家と茶商は現場では交流があるので、組織を再整備して対応したい。

シーボルトの湯の
運営状況と改善点は

山下 農家が出荷する荒茶の取扱い額は、毎年下降が続いている。

荒茶の取扱い単価が生産経費を賄えない状況であり、このままゆくと離農に繋がり嬉野茶は生産者が少なくなつてゆくと懸念する。

生産者、茶商、行政が一体となつて話し合う機関を作るべき。

市長 農家の後継者も育つて、生産技術も向上してきて、昨年は全国一の評価を受けた。

更に消費の販路拡大と販売促進の予算を取った。

山下 温泉の加水の割合で嬉野温泉の特徴である泉質が損なわれていないか。

商店街など地域への波及効果はあるのか。

市長 2ヶ月間の実績と評価はオープン効果もあり、順調である。

泉質の維持はもう少し状況をみてみたい。

課題もあるが、地域の方と話し合いながら進める。

古湯温泉課長 浴槽が狭い、駐車場が不便などあるが、地域への波及効果もあり、好評である。

今後も運営は入場料で

車いすに対する 条例改正が必要

神近 勝彦 議員

答 県と協議したいし単独でも検討したい



神近 障がい者本人が社会参加するための自動車改造助成制度はある。しかし、病気や高齢によつて車イスを利用されている場合、病院などへの送り迎えは、家族がおこなっているが、家族の

自動車を車イス対応にする場合の助成制度はない。
市長 そのとおりである。今、地域における障がいの方々の、外出支援を言っているが制度はおくれている。

県とも協議していきたいし、単独でできるか検討したい。

神近 家の中で、車イスを利用する際の住宅改造の補助金制度があるが、この内容で日常生活をおくることは十分か。

市長 20万円を限度として補助制度がある。介護の方々の軽減というところで改善効果があると考えているが、まだ十分と思つている。

神近 居間、台所、トイレ、浴場など居住空間のなかで、車イスでの移動ができない場合、壁の撤去などに該当するのか。

また、緊急時の場合、逃げようにも玄関は段差があり、車イスでは無理である。

スロープを作るとすれば、屋外しかない。

条例の改正が必要と思ふかどうか。



障がい者の目線にたった補助制度を

市長 必要とは思ふが検討してみたい。

学校施設は国旗掲揚を

神近 学校施設での国旗の掲揚がみえない。

国旗、市旗、校旗は掲揚すべきと思ふが、市長、教育長はどのような考えか。

市長 掲揚していただければと考える。

また、終日掲揚がよいと思う。

教育長 掲揚するのが望ましいと思う。

掲揚については、土日もあるので朝あげて帰り

に降ろすのがいいのではと思う。

シーボルトの湯の課題

神近 玄関横の湯煙が見えない。

市長 改造しなければいけないと思ふ。

ひとつは湯量の問題、もうひとつは、噴出口の問題と考える。

土日は稼働させている

が、できるだけ稼働できるように何か機器があれば対応したい。



高値を期待する入札会

維持費を賄っていく。

観光客200万人の
具体策は

山下 市長の掲げる200万人誘客の具体策は、

市長 嬉野ブランドを生かして大会誘致など努力をする。

山下 海外旅行の対応はどう進めるか。

市長 韓国、台湾、中国へ観光協会と営業活動をしている。

山下 嬉野の立地など特性を生かした提案型の具体的な営業をおこなうべき。

免税店の誘致なども先駆けて検討すべきでは。

市長 研究していく。また、主に5ヶ国語の言語について看板などの表記を整備していきたい。

自主財源が3割を切った

田口 好秋 議員

答 市税収入の増加が必要



田口 7割を国、県に頼っている嬉野市の財政にとって、今後の国の財政事情を考慮した場合、自主財源の増と確保は必要と考えるが対応策は、

また、人口減少の歯止め対策や、有利な制度を利用した事業展開、行政コストの削減、財政運営の透明性に努め辛抱できるところは節約をして、税収増に向けた投資に備える。

田口 産業振興の具体策は、

市長 農業、観光及びその他の産業を含め嬉野らしさをしっかりとだした嬉野ブランドづくりを進める。



早急な処分が望まれる保留地

田口 区画整理事業で市が抱えている保留地の処分計画は。

市長 第七、第八区画整理事業とも工事はまもなく終了し、今進めている地価の鑑定評価もほぼ出揃うので、その後確定作業を進め、それから販売していくことになる。

田口 第七、第八に住宅を建てた場合には、現在ある助成制度とは別に、新しい優遇措置は考えられないか。

市長 この事業は、新しく住宅を整備していく目的もあるので、今後検討する。

田口 水路などに橋をかけて利用している、法定外公共物使用料について尋ねる。

市長 市内全域とも調査をしており、徴収については、使用者は権利として使用されるので、権利が発生する部分については、当然徴収をしていく。

田口 市が所有する遊休地について、売却などの検討をした経緯はあるか。

市長 市有地と交換して「シーボルトの湯」の駐車場として活用した。塩田のストックヤードになっていたものを売却する方向で検討はしている。

田口 市税などの徴収体制は今のままで十分と思っているか。

市長 それぞれの部署で努力はしているが、十分とは決して思っていない。

市税の他、いろいろなもので滞納があり、公平公正が原則なので、組織整備をはかり徴収の一本化に取り組んでいく。

シーボルトの湯の 無料券を配布したら

織田 菊男 議員

答 条例上でできない



対応できない大きいことは、駐車場の問題、窓を開ければ見晴らしは良いが外から見える問題などがあり、対応を考えている。

織田 入場計画数以上の入場者があったときの対応は。

石鹸類を置いて欲しいとの意見に対しては、お客さんの数を見ながら検討する。

市長 公衆浴場なので、ゆつくりお楽しみいただくのが原則。

織田 駐車場は近くにできないのか。

1,000人を超えたときは、入浴制限をおこない、浴槽の状況を見ながら2階での休憩や時間をのびのびと来場をお願いした。

古湯温泉課長 近くに土地があるが、他より貸して欲しいといわれているとのこと、市は駐車場を確保しているので、市が借りることはできない。別の方法で何かできないか考えているが、今のところ具体的には進んでいない。

また、近隣旅館の紹介もおこなった。

織田 シーボルトの湯は、何か不足していると感じるが。

古湯温泉課長 問題がでてまず対応できることはすぐ対応した。

市長 やはりにぎわいが

今後のイノシシ対策は

辻 浩一 議員

答 国・県にも要望していく



ていたが、今までの対策では手薄いということで、国県にも対策の要望をしている。

また、第一期特別対策が平成22年までなので、延期に向けて要望活動をしている。

辻 現状の捕獲者では、捕獲数が少ないということと、3月補正で減額になったと思うが、捕獲者を増やすためには規制の緩和を含め助成も必要ではないか。

産業建設課長 狩猟免許は4種類あり、罠については免許取得の助成がある。

基本的に私有地であっても免許が必要である。ただし困いわたについては免許取得の必要はないが、猟友会の許可は必要である。

辻 河川の葦や雑木がイノシシの隠れ家になっていて、撤去できないか。

市長 以前は山から被害が出ていたが、最近川から飛び出してくることもあり、憂慮している。

以前より土木事務所に依頼して対処しているが



捕獲が難しくなっているイノシシ

再度お願いする。

観光資源の 開発をいそげ

辻 長期不況と旅行形態の変化により、嬉野の観光産業は疲弊している。

お客様のニーズに合った景観・歴史・体験・健康など観光資源の充実が早急に望まれると思うが、奇岩など有望な資源だが、樹木に覆われて見えにくくなっている。

市長 両岩地区の巨岩・

地権者に総合的に相談しながら進められればと

考えている。

辻 両岩宮には鎌倉幕府の元執権北条時頼が狛犬を奉納した歴史などがあ

る。観光に物語やロマンをパッケージすべきではないか。

市長 両岩地区は以前から貴重な文化財があり歴史もあるので地区の皆さんと相談しながら進める。芸能の小浮立も大きな観光資源だと考える。



ひとりでも多くの方が利用してほしい「シーボルトの湯」

足りないと考える。
 今後は集客のため、いろいろ企画し進めていく。
織田 入場者の市内・市外の割合は。
古湯温泉課長 はつきりわからないが、昼間は意外と市外の方が多く、夕方より地元の方が多く。
織田 市内の人でシーボルトの湯に行っていない人が多い、市民のために作った温泉なら、市民一人ひとりすべての人が利用できるような、無料券を配布したらどうか。
市長 市民の皆さんに利用いただくため作った温泉だが、福祉の目的で作っていない、ひとつの憩いの場として作った。料金はかかるが、ご利用いただきたい。
 無料券の発行は、条例上できないので理解してほしい。

口蹄疫対策を急げ

西村 信夫 議員

答 防疫に全力で取り組む



西村 宮崎県で発生した口蹄疫、嬉野市の感染防止対策は。
市長 畜舎入口の防疫徹底と公共施設での消毒をおこなっている。
西村 市内で口蹄疫が発生した場合、初動体制の



早く沈静化してほしい口蹄疫

整備と埋設場所は。
市長 畜舎からの移動禁止となり、埋設は民間の用地や近接地になる。
西村 せり市中止で、市内の畜産農家は収入がなく困っておられる、嬉野市の支援策は。
市長 県の支援制度について経営安定資金の紹介をしている。
 水道料金は24年に統一
西村 塩田町の水道料金は県下で最高値であり、全国でも上位にランクされると思いますが、実態は。
水道課長 県下で1番高くて、全国では5番か6番に高い料金と思う。
西村 嬉野市水道整備計画を具体的にうかがう。
市長 管路の統合、貯水タンクの調整など接続に向けて進めていく。
 料金は24年に統一する。
 父子家庭にも支給
西村 児童扶養手当が父子家庭の世帯にも支給される法案が成立した。
市長 市内の母子家庭と父子家庭の世帯数をうかがう。
市長 母子世帯は295

世帯で対象児童数は406人である。

父子家庭の児童扶養手当は34世帯で児童数は46人程度である。

西村 児童扶養手当は親の所得や18歳以下の子どもの人数によって支給されるが、算定方法は。
市長 第1子で所得制限以下の場合全額支給で4万1,720円、第2子につき5000円、第3子につき3000円加算される。

西村 父子家庭に係る児童扶養手当の事前申請から交付まで計画をつかう。

市長 11月まで申請すれば支給されるが、制度の新設と申請については市報などで知らせる。

ジーベック跡地の活用は

西村 9,000万円で購入したジーベック跡地の活用計画は。
市長 4社と交渉したがまとまっていない。
 今後進出に努力する。

駅周辺整備を急げ

大島 恒典 議員

答 駅前整備の重要性を訴え早急に進めたい



大島 本年3月に「新幹線嬉野温泉駅周辺整備基本計画」が報告されたが、地権者の意向に沿った計画なのか。
市長 昨年10月に120名の地権者にアンケート調査をおこなっている。

現在94%が農地であり、残りは国道沿線の宅地や店舗になっている。
今寺地区では、農地利用の要望が多い、その他の地区では区画整理の要望が多く、将来何らかの形で有効利用を考えておられる。
大島 これまでの区画整理事業と違い、当地は優良な農地であり、慎重に進めていく必要がある。
農業振興地域の除外申請については、今回規模な面積を必要とする。
また、昨年12月の農地法の改正により時間がかかると思われるが。
市長 十分承知している、前より時間がかかると思われるので、できるだけ早め早めにお願ひしている。

大島 計画の中で、地域振興・交流ゾーンという提案がされているが、**新幹線整備課長** 現在中身を練っている。 現時点で、まよりの段階まで至っていない。
市長 市民の皆さんが集まれるような広場、近隣市町の皆さんに利用して

クリーンエネルギーによる小水力発電の導入を

副島 孝裕 議員

答 情報を集めて研究を進めたい



副島 吉田川、塩田川の豊かな河川や農業用水を活用して、クリーンエネルギーである小水力発電の推進はできないか。
市長 森林整備、太陽光発電、省エネ対策公用車の導入、ごみの分別収集など環境保全対策は積極的に取り組んできた。
平成15年に3ヶ所ほど可能性があり調査をされたが、コスト面で十分でなかった、近年では機器も改良されており、情報を集めて研究したい。
副島 「吉田まんぞく館」

事業計画として、「川の駅」の構想をお持ちだが、吉田川、塩田川を利用した水車による小水力発電は「川の駅」構想と共に地域活性化に効果が期待されると思うが。
市長 以前、水力を利用した陶土の水車などがあり、川と共存してきた地域であり、構想には協力していきたい。
小水力発電について有効利用できれば、「まんぞく館」の観光施設としての整備も計画されているので、実現できれば観光にも協力頂けると思う。
副島 小水力発電の導入は、学校教育のための将来を見据えた教材として期待できると思うが。
教育長 太陽光発電を全小学校8校に配備し、子

どもたちは驚きを持って実感しており、小水力発電の導入は、理科分野の教材として児童・生徒が理解しやすい教材になると思うし、一定の情報を得た後に市内の小・中学校に紹介していきたい。
自主防災組織について
市長 合併以前から各行政区により実質的な自主防災組織の活動を受け持っていたらいている。
塩田・布手地区の公民館では、避難用具やヘルメットなど常に用意をされておられ、以前の災害の歴史を理解されていて、地域の守りは自らの手で守る意識の高さがあり、市内全域まではまだまだ至っていない。
副島 地域コミュニティ活動と自主防災組織の取り組みについて。
企画部長 コミュニティの基本的な目的が、自らの地域は自ら守る事であり、自主防災組織の目的の中にも入っている。
今後、総務課の担当者から説明を受けながら進めていきたい。



昔から水の力を利用してきた



どう違ってゆく、駅周辺予定地

ただけるような、開かれたゾーンとして考えている。

大島 嬉野温泉駅には、近隣市町の名物品などを集めた物産館のような施設も必要だと思つた。

市長 基本的には、観光物産面での情報発信基地にしたいと思つている。そのようなコーナーも整備していければと考えている。

大島 新幹線問題では、開業時にある程度の整備

を終えなければ、事業効果が薄いと考える。

地域振興・交流ゾーンの整備も含めて、早急に進めるべきだ。

市長 いろんな事情があり、着工が遅れた。

できるだけ整備効果を上げていきたい、そういう面では地域の皆さん方に、相談しながらしっかりとやっていきたい。



田中 本年産の嬉野茶に

おいては、3月初めと3月後半の急激で異常とも思える冷え込みの影響で、全国的に凍霜害の影響を受け、一番茶においては昨年より1週間程度遅れの収穫となった。

本年産における一番茶の取引状況と防霜ファンの効果は。

市長 5月28日時点、嬉野市管内で、荒茶量が43万キ（対前年比92パー）、金額が9億8、000万円（対前年比121パー）、平均単価2、319円（対前年比132パー）となっている。

防霜ファンの効果については、未設置の園では、摘採ができていないところもある。

設置した茶園については、凍霜害の被害を受け

茶園の防霜対策を急げ

田中 政司 議員

答 計画的に整備していく

ても回復が割合早く品質の低下を防ぐことができたと聞いている。

防霜ファンの設置については今後も計画的に整備していくことが必要だと考えている。

田中 本年一番茶終了後において、防霜ファンの設置希望はどれだけあるのか。

農林課長 22年度当初の予算では3・3（百万）を予算計上していたが、本年一番茶終了後に約10（百万）追加の要望がある。

田中 追加希望に対しての今後の対応は。

農林課長 10（百万）となればかなりの事業費になるが、県の園芸課とも相談し、県の枠が許す限り要望していきたい。

市長 要望がかなうよう

努力し、支援するべきところはちゃんとしていきたい。

田中 主要茶産地の会議において、茶業振興法制定に向けて要望書を出しておられるが、その後の展開は。

市長 九州農政局などに

も要望しているし、全国の組織の中でも要望している。

本庁の法務省のほうでは具体的にはなっていないが、国会議員の方々が基本的な考え方を、取りまとめていく動きになってきたと聞いている。

お茶についても法で振興策を考えていたか、今も制定に向け訴えている。



一番茶の収穫風景

志田焼の里博物館に 障がい者用トイレを

田中平一郎 議員

答 協議していく



田中 嬉野市においては「ひとにやさしいまちづくり」のプランの中で、「日本一のバリアフリーのまち嬉野」実現に向け「環境と公共施設などのユニバーサルデザインを進める町」など3本柱をたて、基本的な取り組みがなされている。

今年の12月には、嬉野市においてユニバーサルデザインの全国大会が開催される予定である。観光スポットのひとつでもある志田焼の里博物館にも障がい者用のトイレをぜひ作るべきと考え

市長 毎年多くのお客様が来ていただくようになったので、今後とも努力したい。

トイレについては、バリアフリーの取り組みが遅れているので、先方と協議しながら、優先整備について決定していきたい。

唐泉山の林道と トイレの掃除は

市長 トイレについては、塩田町の事業として、平成8年に整備されたもので、管理がなされており、今後整備をしていきたい。

冬野北開線の改善策は

田中 冬野北開線の旧道は通学路でもあり、幅員も狭く非常に危険なため、何か良い改善策はないか。
市長 地元の同意をいた



改築がまたれる、トイレ

できれば、通行規制も可能と思われるので、地元と協議を進めていきたい。

イカダ公園の滑り台は 撤去・修復すべきだ

市長 平成8年に設置され、その後老朽化により使用を中止している、今後撤去したい。
他の公園の遊具についても、今後点検をおこないい危険防止に努めたい。

住宅火災警報器の 設置について

田中 65歳以上のひとり暮らし世帯への対応は、
市長 補助制度は現在考えていない。
高齢者等緊急通報事業で設置する機器については、整備が進むものと考えている。

源泉の集中管理 今後どう進める

山口 要 議員

答 できる限り努力する



とが課題として協議に入ることができなかった。
山口 この事業については、市当局も源泉所有者であり、また合併特例債利用のリーディング事業として位置づけられている。
今後、市長が先頭にたって会議を開催せよ。
市長 できる限りの努力をしていきたい。

観光と文化の融合を

山口 福井県の丸岡町は「一筆啓上賞」の町として有名であり、また大分県の直入温泉の直入町ではエッセイ集を発行している。

本市でもエッセイなどの募集に取り組んでみてはどうか。

市長 文化の香り高い町づくりを進めていくことと、全国への情報発信につながると思うので、嬉野らしい取り組みを検討していきたい。

山口 平成3年の第1回目の源泉所有者会議以降、今日まで約20年が経過した。
遅々として進まなかった原因は何か。
市長 大きな理由としては、源泉所有者の所有権の問題が揺らぎ、そのこ

テレビ中継の告知は どうした

山口 忠孝 議員

答 放映には大きな反響があった



山口 最初に断っておくが、私はテレビ中継の話を知らなかったで観ていない。
この企画はどのくらい前から話があったのか。
古湯温泉課長 ある程度早くから日程を言ってきたが、最終的に決まった



全国放送された「シーボルトの湯」

のは20日前くらいだ。
山口 放送が決まった時点で、市民にチラシを配るとか、宣伝カーを出すとかいう企画の話は出なかったのか。
市長 県外のふるさと会へは案内八ガキ、市のホームページでも予告、また職員などを通して市民へ告知した。
NHKでも積極的に予告を出していたとき、おかげで大きな反響があった。

山口 市の方からNHKにお願いしたとのことだが、経費やCM料は。
古湯温泉課長 放送にかかる経費は一切かかっていない。
放送の時間帯の前後は浴場が貸しきり状態になったので、一般のお客様に迷惑をかけたくらいだ。
いくらかの収入減はあったかもしれない。
山口 嬉野温泉の観光宣伝のため、市の予算は

大々的に使われている。それも大切だが、市民一人ひとり宣伝マンになってくれれば、市長のトップセールスと同様、大きな効果があるのではないか。

市長 今後できるだけ早く知らせて、市民の皆様と協力して頑張りたい。
山口 シーボルトの湯の開業を機に、市民の皆様が宣伝マンとなれるような、お金がかからない施策も考えてもらいたい。

名誉市民について

山口 現在、名誉市民は何人おられるのか。

市長 名誉市民は5人で2人の方がご健在だ。

山口 名誉市民は、旧両町の名誉町民をそのまま引き継いだということか。

市長 旧両町に名誉町民がおられたので、合併で名誉市民になられた。

山口 名誉市民の称号の取り消しもあり得るのか。

市長 名誉市民の選定・取り消しは条例で定めてある。

事業仕分けをどうする

山口 今、国では事業仕分けが注目をされている。本市でも財政が厳しくなるなかで3月議会に提案をした。

その後、どのような試みがされたか。

市長 本年度、事業シートの作成、事業見直し項目の作成などの準備をおこない、来年度に委員の公募や事業仕分け作業の実施、市としての方針決定、翌年度の予算への反映となるように予定している。

職場改善に努力せよ

山口 県では職員自ら業務改善に取り組み、働きやすい職場づくりを進める「スマイル・プロジェクト」を展開している。本市でも取り組んでほしい。

市長 以前から人事評価制度の準備を進めているので、その一環として取り入れていけるようにしたいと考えている。



嬉野市の宝、「源泉」

委員会レポート

市所有の施設及び市有地の活用策はないか

総務企画委員会

委員会では市が所有する施設や土地の一部を調査しただけであり、このほかに財政課より提出された一覧表によれば、土地が約150箇所、施設（建物）が約100箇所

委員会の意見

市が所有する施設及び市有地の実態を把握し、今後処分も含めた有効活用や設備の充実をはかることにより、住民サービスの向上がはかれる施設及び市有地があるのではとの考えから、現地調査をおこなった。



地域住民の活用が期待される、美野分教場

程度の公有財産があり、現在、担当課においてはその台帳整理がおこなわれているとのことである。市の財政状況もひっ迫する中、市当局においては、市が所有する土地や施設について、どのような利用がなされ、市の将来において本当に必要な土地や施設なのか早急に調査・研究し、売却や施設の再整備などを含め、将来的な視野にたった対策を講じるべきと考える。



昭和43年2月に完成した大野原小中学校校舎

学校の耐震補強改修工事に伴う児童の安全確保を

文教厚生委員会

市民の安全・安心を 調査

水道水の安全・安心を調査

産業建設委員会

旧塩田町に供給されている水道水がどのような形で供給されているか調査するため、また、市が「うれしの水」として販売している唐津市七山に調査をおこなった。

委員会の意見

旧塩田町は佐賀西部広域水道企業団に加入し、

水源として嘉瀬川から水道水の供給をうけている。浄水施設も2重、3重の安全を確保され人体に影響のない水道水が供給されている。

水道水の単価も当初1割当たり92円が、現在二部料金制（使用料・引受水量）の導入により1割当たり82円というように、

企業努力もおこなわれている。水質も常時監視がおこなわれ問題ないと思われる。

しかし、嬉野市の引受水量は1日あたり4、483割であるが、利用は50割台なので、もっと水道水を利用する事業が必要であるし、水道料金も見直すべきと思う。

「うれしの水」を充てんしている「株キコリななやま」は平成22年度は05リットルを7、488本。

2リットルを3、198本計画されている。

今後、販路を広げ、「うれしの水」として嬉野市の名前を高めるべきと考える。

学校の夏休み期間中、校舎の耐震補強工事が計画されている。より良い工事がおこなわれるように、工事の進め方などを聞き、併せて学校側の意見や要望を聞く必要があるため、大野原小中・大草野小両校の視察をおこなった。

委員会の意見

市は9月の授業に支障が無いよう、夏休み期間中に工事を完了させる計画であるが、工事が長引けば9月の授業に支障があるのでとは両校の校長先生は心配されている。

市は、早期に入札をおこない業者の方には万全の体制で臨まれるようにするとの説明であった。

しかし、工事期間中에서도登校日の予定があり、

校庭・グラウンドでは部活動もある。

また、駐車場の確保も必要など工事に伴ういろいろな諸問題が生じるので、市・教育委員会・学校側とよく話し合いをもつて、納得のいく安全な工事をすすめていかれることを強く望む。



水質は常時監視されている。

観光客誘致に議会も貢献しています

平成22年4月の日本経済新聞社がおこなった、全国の市区議会を対象とした議会改善度ランキングで、嬉野市議会は全国9位となりました。

また、議会だより発行では、旧嬉野町議会が全国2位の栄冠を受けたことなどによって、全国の市議会から視察研修にみえられています。

今年も4月から7月までの間で、6つの市町からおいでいただき、ほとんどの団体が、嬉野市に宿泊されました。

これからも、多くの市町議会のみなさまが、嬉野市に宿泊していただけるよう、議会としても、いっそう努力してまいります。



嬉野市議会への視察来庁 平成22年4月～7月

4月5日	佐賀県	佐賀市議会	24人	議会報告会について 議会広報について	
4月12日	宮崎県	新富町議会	5人	議会基本条例制定について 議会改革に関すること	宿泊あり
5月19日	福岡県	みやま市議会	11人	議会基本条例について	宿泊あり
7月1日	山形県	寒河江市	9人	議会基本条例について	
7月16日	大分県	豊後大野市	13人	議会基本条例（議会報告会の取り組み）	宿泊あり
7月21日	熊本県	菊陽町	7人	議会基本条例について	宿泊あり

嬉野市に36人が宿泊されました。

平成22年 9月 定例会 日程(案)

9月27日	9月26日	9月25日	9月24日	9月23日	9月22日	9月21日	9月20日	9月19日	9月18日	9月17日	9月16日	9月15日	9月14日	9月13日	9月12日	9月11日	9月10日	9月9日	9月8日	9月7日	9月6日	9月5日	9月4日	9月3日	9月2日	9月1日
月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水
討論・採決			休会	(秋分の日)	議案質疑	議案質疑	(敬老の日)			決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会	決算特別委員会			一般質問	一般質問	一般質問	常任委員会	常任委員会			定例議会開会		議会運営委員会

議会交際費支出状況

(平成22年4月1日～6月30日)
(単位：円)

交際費の項目	件数	支出額
香典	0	0
供花	2	21,000
御祝	3	20,000
会費	1	10,000
その他	0	0
計	6	51,000

- ・御祝 公的性格を有する団体への支出
- ・会費 上部団体並びに公的性格を有する団体との協議会費

お詫び

3月議会の議会だより(17号)の5Pの記事「貯金は？借金は？」の記事中に誤りがありました。正しくは、
・しかし、一般会計の借金は、22年3月末現在で、89億2,026万円となり、市民一人当たりの借金は、約30万6,770円となります。
以後、こういう間違いが無いよう気をつけます。